

(1) 事業実績報告

団体名：斑尾高原 遊歩会

事業名：山野草鑑賞トレッキングの普及と質的向上を図る事業

項 目	内 容
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 斑尾高原トレイル適地に「シラネアオイ」を植栽すると共に従来斑尾高原に在った山野草の復活と数が減ってしまった山野草の増加を目指す活動によりトレイルの魅力をこれまで以上に向上させる。</li><li>2. 斑尾高原の自然環境（多様性）の保全と育成。</li><li>3. ガイドの質の向上を図り、山野草鑑賞トレッキングコースの充実に努める。</li></ol> 以上を通じて活動を行い、斑尾高原の魅力を高めることを目的とする。
事業内容 (できるだけ 詳細に記入 してください)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. シラネアオイ等の植栽は、5月中下旬にかけて東トレイル3年生苗200株余(肥培管理育成等を専門家に委託)、八坊塚トレイル3年生苗60株、せせらぎトレイル30株、その他東トレイルにオダマキ18株、雪割草24株を植栽した。 山野草の植栽に当たっては、植栽場所の整備を行い、トレイル付近にある枯損木等をハイカーの危険防止措置・植栽場所の適正化の観点から伐採業者に委託処理した。 こうした結果、今年度春段階に「山の家」を起点とした回遊性を持つ「シラネアオイの小径」第一号が概ね完成した。</li><li>2. シラネアオイの植栽に合わせ以下のような看板の設置等を行った。 東トレイル・八坊塚トレイル・せせらぎトレイル入口3カ所に「シラネアオイの小径」の案内看板(大)を製作・設置し山野草の保護啓蒙と案内とし、同時に各植栽場所には案内看板(小)を製作・設置し植栽場所の保護と明確化に努めた。 また、各種山野草の踏み荒らし、盗掘防止など保護のための木杭とシュロ縄によるロープの設置を植栽地の必要個所に施した。</li><li>3. 5月8日～6月6日迄の間、コロナ禍の基「斑尾高原・シラネアオイの小径山野草ガイド付きトレッキング」を実施した。読売新聞での報道や地元テレビ局(iネット飯山)の取材(5月20日)・放映(1週間連続)、FB宣伝、チラシ作成・配布等を用いて宣伝・広報活動を行った。 結果的に地元や近隣から比較的多くのお客様が鑑賞に訪れたが、イベントとしての「有料ガイド付きトレッキング」へのゲストとしては物足りない成果であった。今年度は、コロナ禍の中での開催であり特別な事情下であったが、イベント内容・告知等遊歩会としての取り組みにも反省すべき課題を残した。</li><li>4. 7月に山野草及び自然環境に関する知識を深めるため、外部講師を招いて苗場山研修(参加者11名)を開催した。</li><li>5. シラネアオイの採種(9月下旬～10月)と播種(11月) シラネアオイの採取と播種に関しては、遊歩会として行い、肥培等育苗管理に関しては、山野草専門家に委託(移植適期となった育苗を春の移植時期に購入している)した。</li></ol>

なお、移植苗(基本は3年生苗)の購入は、収支決算報告書積算欄を参照されたい。

6. 9月末飯山市文化交流館「なちゅら」にて開催される絵画個展会場にて「斑尾高原シラネアオイの小径」紹介コーナーを設け個展参加者へのPRを行なった。
7. 「シラネアオイの小径」マップは、要望が出され作製が伸びていたが11月に完成しPR等に活用している。
8. 11月に2022年度春植栽予定の中央トレイル及びせせらぎトレイルの適地を選定(八坊塚トレイル3カ所、せせらぎトレイル5カ所、中央トレイル5カ所)し、整備を行った。又カタクリの球根117球が急遽入手できたため、八坊塚トレイル3カ所、東トレイル3カ所に整備・植栽を行った。
9. 3月に自然と環境に関する知識、山野草に関する知識等を広め、深めるために外部講師を招き研修会を開催した。